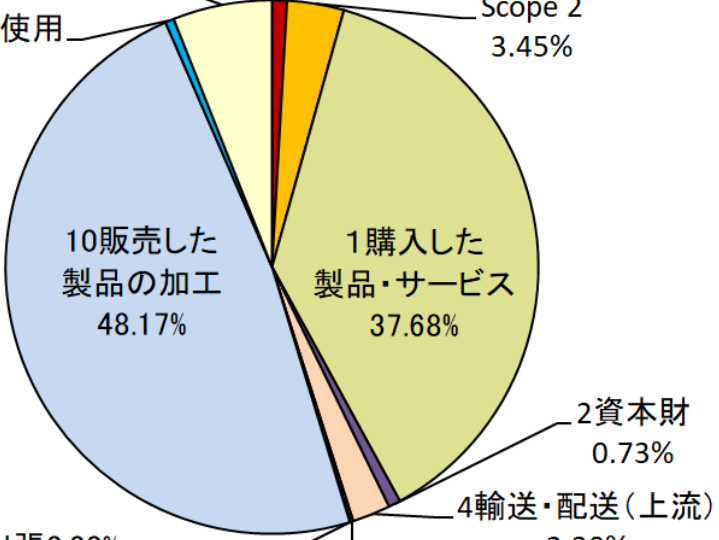


# 株式会社日清製粉グループ本社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業種：食品製造業</li> <li>● 事業概要：小麦粉の製造及び販売、加工食品、中食・惣菜、酵母・バイオ、ペットフード、健康食品、エンジニアリング、メッシュクロスなどの事業。</li> <li>● 事業規模： <ul style="list-style-type: none"> <li>(売上高) 5400億円 (2018年3月期) (連結)</li> <li>(従業員数) 6545人 (2018年3月末) (連結)</li> </ul> </li> </ul>
2.削減目標案	<p>&lt;Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み&gt; 国内CO<sub>2</sub>排出量：2030年に2013年度比総排出量26%</p> <p>&lt;Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope 3の全体削減目標は未策定</li> <li>・容器包装に関連した排出削減</li> <li>・製品の使用段階におけるCO<sub>2</sub>削減 (時短調理、省エネルギーに寄与する製品の開発・販売の推進)</li> </ul>

# 株式会社日清製粉グループ本社

項目	内容																					
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Scope 1・2・3の排出量の状況</li> </ul>	SCOPE1 : 42千 [tCO <sub>2</sub> ]																				
	 <p>The pie chart illustrates the distribution of GHG emissions across various categories and scopes. The largest portion is '10 販売した製品の加工' (48.17%), followed by '1 購入した製品・サービス' (37.68%). Other categories include '12 販売した製品の廃棄' (6.01%), '4 輸送・配送(上流)' (2.30%), '2 資本財' (0.73%), '11 販売した製品の使用' (0.53%), '7 雇用者の通勤' (0.03%), '5 事業から出る廃棄物' (0.19%), and '6 出張' (0.00%).</p> <table border="1"> <caption>GHG Emissions Breakdown by Category and Scope</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 販売した製品の加工</td> <td>48.17%</td> </tr> <tr> <td>1 購入した製品・サービス</td> <td>37.68%</td> </tr> <tr> <td>12 販売した製品の廃棄</td> <td>6.01%</td> </tr> <tr> <td>4 輸送・配送(上流)</td> <td>2.30%</td> </tr> <tr> <td>2 資本財</td> <td>0.73%</td> </tr> <tr> <td>11 販売した製品の使用</td> <td>0.53%</td> </tr> <tr> <td>7 雇用者の通勤</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>5 事業から出る廃棄物</td> <td>0.19%</td> </tr> <tr> <td>6 出張</td> <td>0.00%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	10 販売した製品の加工	48.17%	1 購入した製品・サービス	37.68%	12 販売した製品の廃棄	6.01%	4 輸送・配送(上流)	2.30%	2 資本財	0.73%	11 販売した製品の使用	0.53%	7 雇用者の通勤	0.03%	5 事業から出る廃棄物	0.19%	6 出張	0.00%	SCOPE2 : 163千[tCO <sub>2</sub> ]
	Category	Percentage																				
10 販売した製品の加工	48.17%																					
1 購入した製品・サービス	37.68%																					
12 販売した製品の廃棄	6.01%																					
4 輸送・配送(上流)	2.30%																					
2 資本財	0.73%																					
11 販売した製品の使用	0.53%																					
7 雇用者の通勤	0.03%																					
5 事業から出る廃棄物	0.19%																					
6 出張	0.00%																					
	SCOPE3 : 4,525千[tCO <sub>2</sub> ]																					

# 株式会社日清製粉グループ本社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農作物への影響により小麦粉等の安定供給に支障をきたす事業リスク。</li> <li>● 新型インフルエンザの大流行などによる対策コストの増大、損害発生、顧客や消費者への製品供給に支障をきたす事業リスク。</li> <li>● 法規制の強化による対応コストの増加。</li> <li>● 原料市況の変動や包装資材等の原材料価格の上昇による調達コストの増加。</li> <li>● 家庭や社会で利用される段階の環境負荷低減に役立つ製品・サービスの事業機会。</li> <li>● 効率的なエネルギーや資源の利用、物流体制によるコスト競争優位性の実現。</li> <li>● 自然災害時を想定した安定供給対策への積極的な設備投資による製品供給体制の強化。</li> </ul>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2030年度までのスコープ1・2に関する目標は策定済み。</li> <li>● スコープ3の定性目標をより明確に長期にかかる数値目標として設定し、社会の2℃目標の達成に貢献したい。</li> <li>● グループで一体となった目標のもと、ステークホルダーから指示され続ける企業グループを目指す。</li> </ul>

# 株式会社日清製粉グループ本社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 気候変動に関する長期ビジョンや目標設定の必要性を認識した。</li><li>● SBT設定に向けて検討すべき項目や段階がより明確化したので、引き続き目標設定に向けた検討をすすめる。</li></ul>
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● SDGsやパリ協定など、持続可能な社会の実現を目指す世界の中で、長期的な視野で社会課題解決に貢献していく姿勢をステークホルダーに示すための、具体的な目標や施策を検討する。</li></ul>